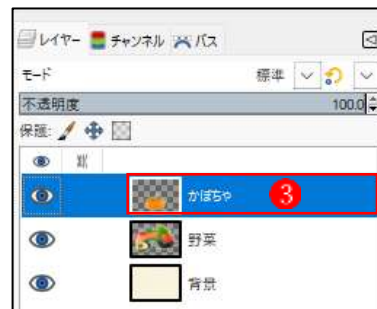
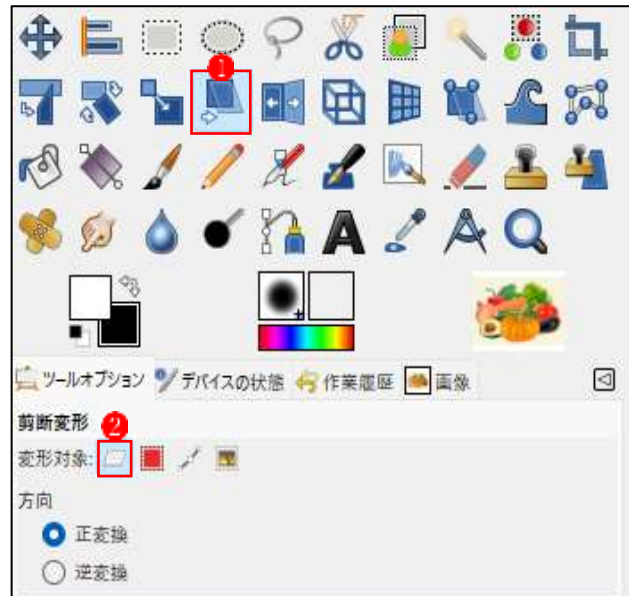


## [レイヤーの変形/レイヤーサイズの変更/合成モードの Clip]

## 1 [剪断変形/統合変形]

## 1 [剪断変形]ツールで変形する

- ① サンプルデータを開きます。[ツールボックス]の[剪断変形]をクリックし①、[ツールオプション]ダイアログで[変形対象]を[レイヤー]にします②。[レイヤー]ダイアログで、[かぼちゃ]レイヤーをクリックして選択します③。



- ② 画像内でクリックします。左右または上下にドラッグすると斜めに変形します④。
- ③ Enter キーを押すか、[剪断変形]をクリックして⑤ 確定します。



## 2 [統合変形]ツールで変形する

[統合変形]ツールは、[拡大・縮小]、[回転]、[剪断変形]、[遠近法]の4つのツールと同じ操作をまとめて実行できるツールです。

### ① サンプルデータを開きます。

[ツールボックス]の[統合変形]をクリックし①、[ツールオプション]ダイアログで[変形対象]を[レイヤー]にします②。

[レイヤー]ダイアログで、[かぼちゃ]レイヤーをクリックして選択します③。

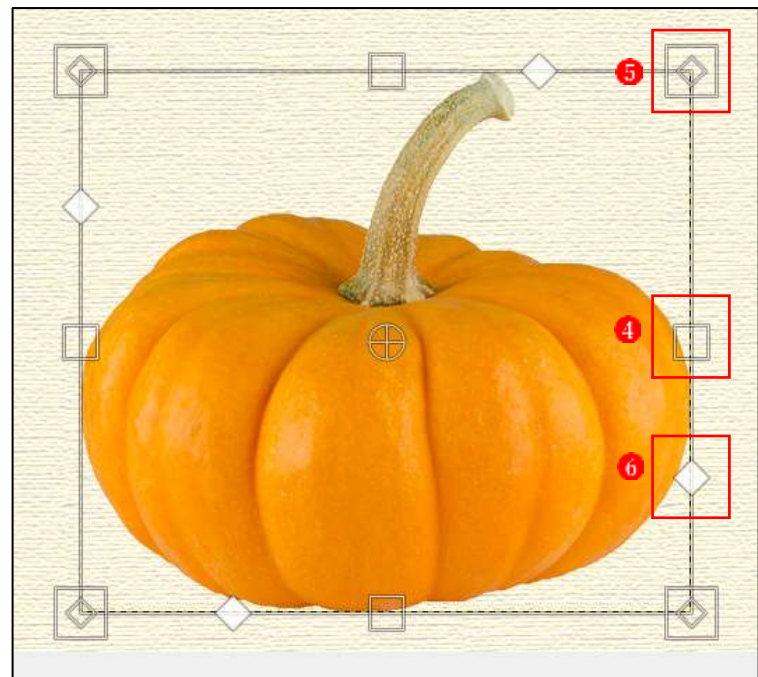


### ② ツール選択後に画像をクリックして表示される枠には、

④ □、⑤ ◇ (中抜け)、⑥ ◇ (中白ベタ) の3種類のハンドルが表示されます。


□のドラッグで[拡大・縮小]、◇ (中抜け) のドラッグで[遠近法]、◇ (中白ベタ) のドラッグで[剪断変形]が実行でき、枠外のドラッグで[回転]となります。

Shift キーや Ctrl キーによる効果もそれぞれのツールと同じになります。各ツールとの違いは数値指定ができないことです。画像右上に表示されるダイアログの[変形]をクリックすると確定します。

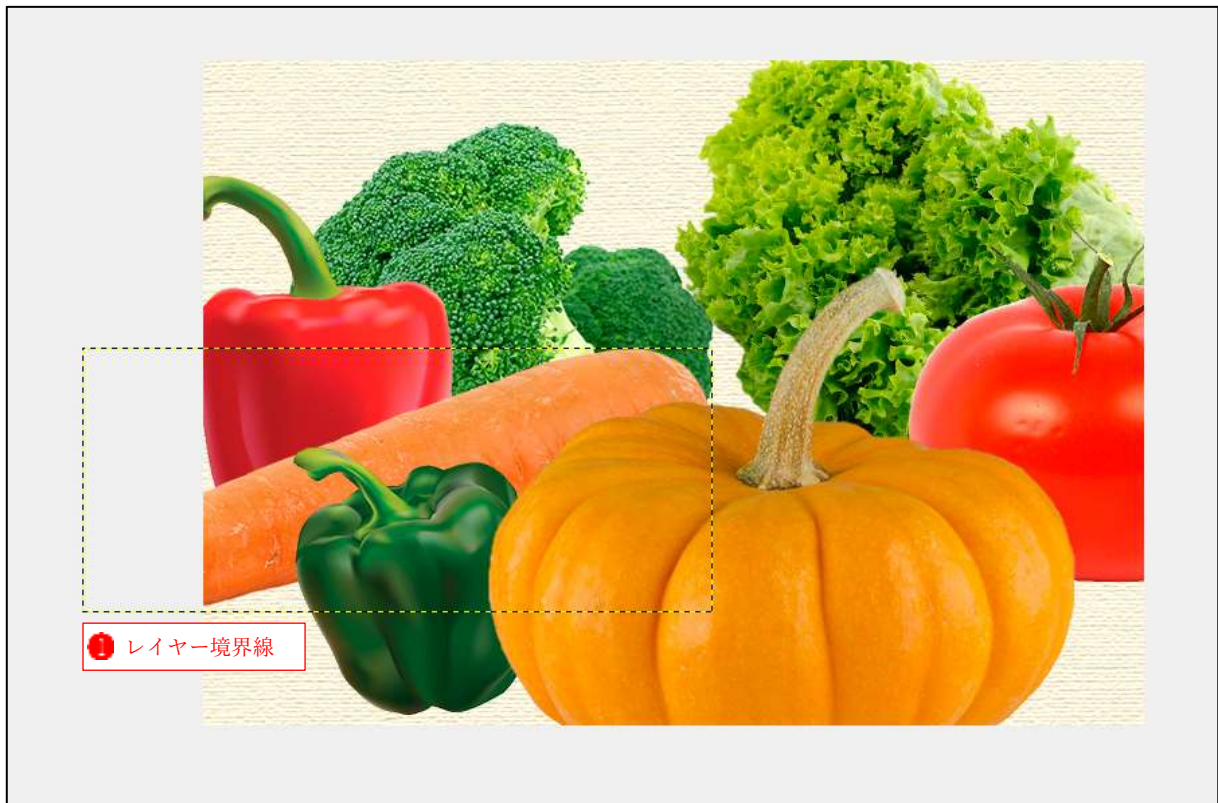


## 2 レイヤーサイズの変更

### 1 レイヤーサイズとは

サンプルデータを開きます。この画像は9つのレイヤーでできています。画像には黄色と黒の破線が表示されています。これは現在選択しているレイヤーのサイズを表す[レイヤー境界線]です。[レイヤー]ダイアログで別のレイヤーを選択すると、レイヤーの境界線の位置・大きさが変わります。このようにレイヤーごとにサイズが異なります。

変形などでは自動でレイヤーサイズが変更されますので、通常、レイヤーサイズを意識する必要はありませんが、たとえばレイヤーサイズの外に画像を作りたい場合などはサイズを変える必要があります。



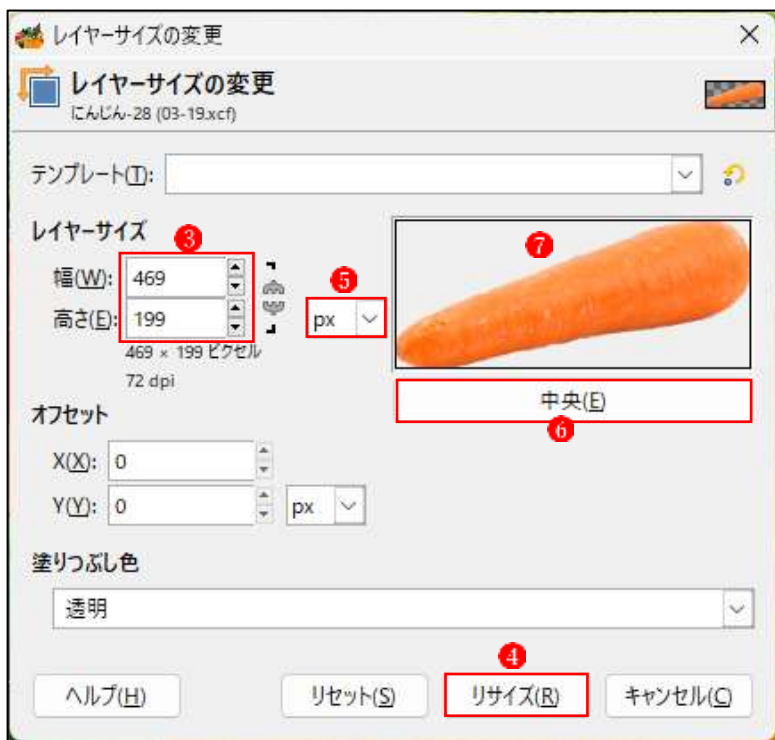
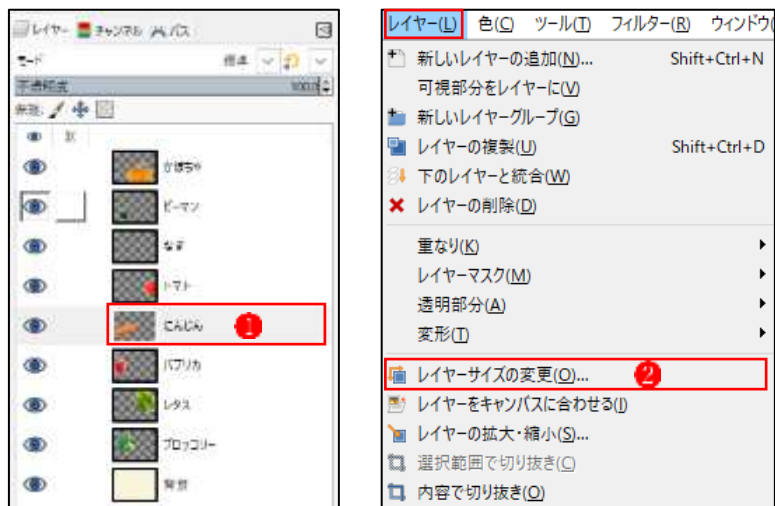
黄色と黒の破線が選択している範囲がレイヤーのサイズです。レイヤーを選択すると表示されます。レイヤーサイズをキャンバスより大きくしたり、キャンバス外にレイヤーを配置することもできます。黄色と黒のレイヤー境界線は、[表示]メニューの[レイヤー境界線の表示]で、表示・非表示を切り替えられます。

## 2 レイヤーサイズを変える

レイヤーサイズを変える方法はいくつかあります。

数値指定で変更したい場合は、[レイヤーサイズの変更]を使います。

- ①レイヤーサイズを変更したいレイヤーを[レイヤー]ダイアログで選択し①、[レイヤー]メニューの[レイヤーサイズの変更]をクリックします②。
- ②[レイヤーサイズの変更]ダイアログでは、数値入力でサイズを指定します③。指定したら[リサイズ]をクリックします④。

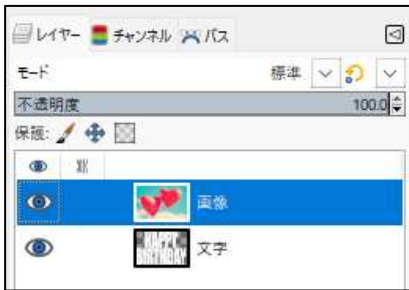


- ⑤の単位を変更すると[%]や[mm]でも指定できます。中央から拡大したい場合は、サイズ変更後に⑥をクリックします。⑦のプレビューで変更後を確認できます。

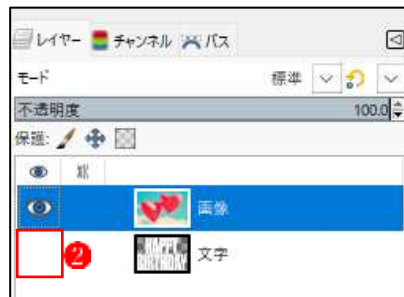
### 3 合成モードの Clip

#### 1 Clip to Backdrop（背面の画像で切り抜き）

サンプルデータを開きます①。画像が文字で切り抜かれて、その外側は透明になっています。

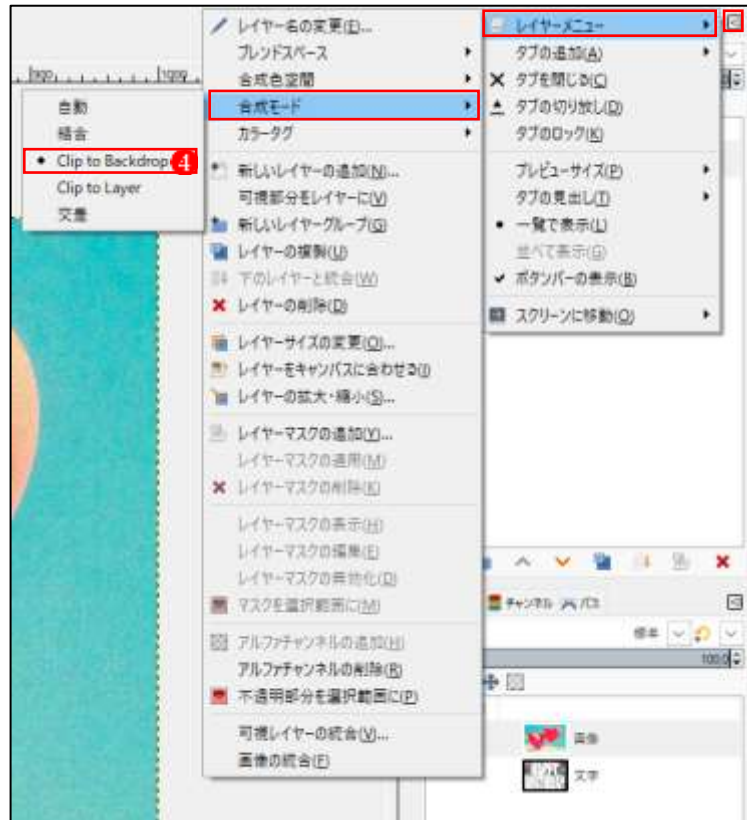


[レイヤー]ダイアログで画像のレイヤーの下にある文字レイヤーを非表示にしてみましょう②。画像の隠れていた部分がすべて表示されます③。



下の文字レイヤーを表示状態に戻すと、画像が文字で切り抜かれた状態に戻ります。

この方法は、下のレイヤーのすべての表示状態の不透明部分（サンプルデータでは文字レイヤーのみ）で、現在のレイヤー画像（サンプルデータでは[画像]レイヤー）を切り抜いたように見せる機能です。この設定をするには、[レイヤー]ダイアログで、上のレイヤー（ここでは[画像]レイヤー）を選択し、タブメニューの[レイヤーメニュー]→[合成モード]→[Clip to Backdrop]④をクリックします。



1. [合成モード]は、設定したレイヤーより下にあるすべてのレイヤーの表示状態で切り抜かれます。1つのレイヤーだけの不透明部分を利用したい場合は、レイヤーグループを使用します。
2. レイヤー画像の不透明部分または透明部分を使ってほかのレイヤーの画像を切り抜く方法は、ここで紹介した Clip のほかに、[レイヤーモード]の[消しゴム]があります。[消しゴム]は[Clip to Layer]の逆で、不透明部分で下のレイヤーをすべて切り抜きます。
3. [レイヤー]ダイアログのタブメニューの[レイヤーメニュー]→[合成モード]は、通常は[自動]に設定しておきます。
4. [Clip to Layer]は、設定したレイヤーの透明部分で下のレイヤーをすべて切り抜きます。この場合、[レイヤーモード]が[標準]だと、設定したレイヤーの画像がそのまま表示されるだけになります。[Clip to Layer]を使用するときは、[レイヤーモード]は[標準]以外に設定しておきます。